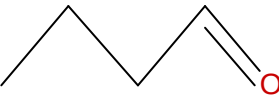


ブチルアルデヒドの概要

①CAS (官報公示整理番号 (化審法)) ②名称 ③構造式	① 融点(°C) ② 沸点(°C) ③ 蒸気圧 ④ 性状等	一般化学物質 の製造・輸入 数量	用途	遺伝毒性試験の概要	発がん性試 験の 実施状況又 は実施予定	HSDB またはPubMed等の 毒性情報	代謝	法規制 (労働 衛生)	①GHS分類 (発がん性) ②管理濃度	①IARC発がん性 ②産衛 ppm(mg/m ³) ③ACGIH	留意事項
①123-72-8 (2-494) ②ブチルアルデヒド ③ 	① -99 ②74.8 ③ 14.8kPa (25°C) ④無色、特有 のアルデヒド刺 激臭の可燃性 液体	(1)アルカナール(C=4～19) として20,000 t (2) 輸出量: 4,549t 輸入量: 4,462t (2012年)	合成樹脂原料, 2-エチルヘキシルアルコール原料, ゴム加硫促進剤	○エームス試験 複数の試験で陰性 ○染色体異常試験 (CHL) 陽性 数的異常: D ₂₀ =0.021 構造異常: D ₂₀ =0.046 既存化学物質変異原性試験データ集補遺3版 (JETOC, 2005) ○小核試験 (マウス末梢血) 陰性 Environ Mol Mutagen (2000, 36(3))	(参考) ラット・マウスの2週間経口投与試験及び13週間経口投与試験は、ともに実施済み (NTPの Testing Status)	ヒトへの影響において、「ブチルアルデヒドの暴露は労働者における気道上皮のがんと高温での処理に関する肺がんに関係しているかもしれないが、他の反応性の高いアルデヒド類の暴露可能性もあり、ブチルアルデヒド単独の反応かは不明である」(PATY 5th vol.5, 2001)とあり、分類できないとした。 (厚生労働省GHS分類)	-	強度の変異原性が認められる物質	① - ② -	①未評価 ②未評価 ③未評価	NTPは13週試験を終えているが報告書は出さないとしている。

(1)一般化学物質の製造・輸入数量(平成25年度実績)(経済産業省)
(2)16514の化学商品